

地域医療連携総合センターだより

No.52

- I. 脳神経外科脳塞栓治療について
- II. 仕事と治療の両立支援について
- III. 今後のイベント開催について



発行：2018.5 釧路労災病院地域医療連携総合センター

理念：最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

脳塞栓はレスキュー可能な時代に

tPA静注療法は、発症から4.5時間（できれば3時間）

以内が鍵です！！

カテーテル血栓除去は、発症から8時間（できれば6時間）



脳神経外科部長

伊東 雅基

スタンフォード大学留学から戻り、4月から釧路労災病院に赴任しました
伊東雅基です。（脳神経外科専門医、脳卒中専門医）

ご存じのとおり、急性脳動脈閉塞症、特に心原性脳塞栓による
脳主幹動脈閉塞症は、超急性期脳血管再開通療法が標準的な
治療となり、脳塞栓症は救済が可能な時代となりました。

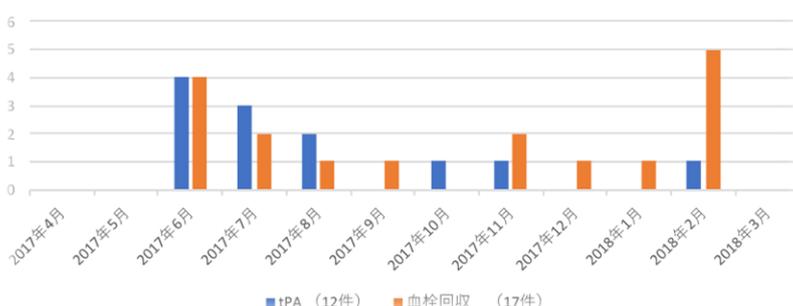
十数年前(2005年)、tPA 静注療法やカテーテル血栓回収療法が
我が国でも標準(保険適用)治療となる以前は、効果的な治療の手立てが少なく、もとの自立した
日常生活ができなくなるような後遺症を残すか、生命予後に関わる場合がほとんどという疾患で
した。本疾患が重篤な疾患であることは今も変わりありませんが、一旦発症しても適切な患者さんで
治療が奏功すれば、神経症状が劇的に改善する患者さんを経験することは稀ではありません。

この4月からも、当院には私を含め2名の脳卒中専門医と5名の脳神経外科専門医が
常駐しているため、緊急疾患であり、症例を慎重に選択して必要であれば、tPA 治療だけでなく
カテーテル血栓回収療法も実施可能な体制を整えております。

少しでも地域の皆さまに貢献できることがあるのではないかと考えておりますので、
いつでもご相談ください。

釧路労災病院

超急性期再開通療法実施件数 (2017年度)



脳神経外科診療体制



- ・常勤医6名
- ・24時間受け入れ可能

※ご不明な点は、

地域医療連携総合センターまで
お問合せ願います。

0154-32-3464(直通)

がんの治療をしながら「働き続ける」方へ

「仕事と治療の両立支援」のご相談をお受けいたします

～こんな悩み・不安を相談することができます～

- ・治療内容から働き続けられるかわからない。
- ・治療を受けながら働き続けることに不安がある。
- ・復職する際、同じように働けるか不安だ。
- ・働き続けるにあたって治療と仕事の両立支援について聞きたい。
- ・医師からの指導内容をどう会社に伝えてよいかわからない
- ・就業上の留意点を会社に提出するための意見書を書いてほしい。
- ・上司、同僚の理解が得られるか不安だ。
- ・復職しようとしても、解雇されるのではないか不安だ。

勤務を続けることができるか等の相談

意見書等に配慮内容を記載してもらうための助言

その他治療中における健康不安についての相談



症状・治療状況に就業上の配慮を促すための連携対応

治療と仕事が両立できる休暇制度を会社側に提案

関係機関の紹介

対象者：当院に関わらず、がん等で治療中の方や、そのご家族、事業場の担当者の方

場所：地域医療連携総合センター（1階） 相談専用個室あり

予約制：対面相談は完全予約制とさせていただきますが、予約は随時承っております。

対応者：両立支援促進員（医療ソーシャルワーカー）

料金：相談無料

連絡先：0154-22-7191（代表） ※8:15～17:00 土・日・祝日 12/29～1/3を除く
※北海道産業保健総合支援センターと連携し、ご相談をお受けいたします。



今後のイベント開催予定

院外健康相談〈一般市民向け〉

日時：平成30年5月19日（土）13:00～15:00

場所：イオンモール釧路昭和店

・健康チェック（血圧測定、血糖チェック、体脂肪測定）

・骨密度測定 ・AED講習会 ・HIV啓蒙活動 ・臓器移植の推進

・健康相談（医師による健康相談、乳がん相談、お薬相談、
栄養相談、運動相談、ストレスチェック）

・看護師ユニフォーム着用体験（子供対象）

※入場無料 骨密度測定は素足で測定しますので、
ストッキングやタイツの着用は避けて下さい

第12回 道東地区エイズ拠点病院等

連絡協議会・研修会 〈一般市民向け〉

日時：平成30年6月9日（土）16:30～17:30

場所：釧路労災病院講堂（3階）

・特別講演

「HIV検査相談室サークル札幌10年の歩み～現状と課題～」

・講師 社会福祉法人はばたき事業団 北海道支部 坂本 玲子氏

※入場無料